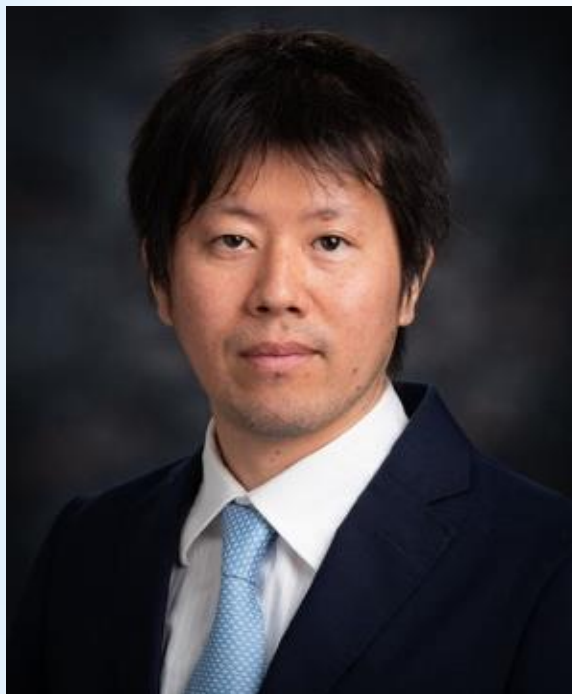


骨格系細胞による組織修復と疲弊による生体恒常性の維持と限界

日時：令和7年9月29日（月）17:00～18:00

場所：旗の台校舎 1号館 6階 会議室



長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
硬組織発生再生学分野 教授

松下 祐樹 先生

講演要旨

超高齢社会のわが国では、健康寿命を高めることが非常に重要な課題となっており、特に骨粗鬆症や、それに伴う骨折は、寝たきりにつながりやすく、健康寿命を縮める大きな危険因子となります。骨に存在する多様な骨格系細胞は、損傷に対する組織修復を担う幹細胞能をもつと考えられておりますが、その能力に限界はないのでしょうか？本セミナーでは骨格系細胞の「疲弊」に着目し、特に骨髄間質細胞が組織修復後にどのような運命を辿るのかを紹介し、損傷後の細胞動態を通じて、骨の恒常性維持や修復機構の限界について議論します。

主催

昭和医科大学歯学部口腔生化学講座
142-8555 品川区旗の台1-5-8

担当：山田（内線：8163）

本セミナーはリカレント教育認定です。